

IR-DOMO! アルバイトタイムスの声をお届けします!

REVIEW

アルバイトタイムス 株主通信

FEATURE

**大幅な増収増益を達成。
さらなる成長を目指します。**





大幅な増収増益を達成。
さらなる成長を目指します。

代表取締役社長

垣内 康晴

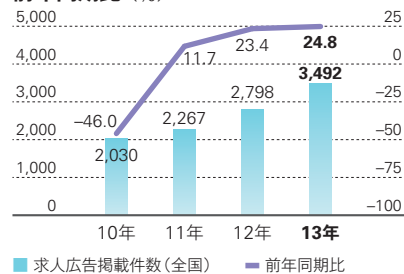
はじめに

株主・投資家の皆さまには平素より格別のご支援及びご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。2013年2月期の事業概況及び当社の取組みについてご説明させていただきます。

2013年2月期の経営概況

当期におけるわが国経済は、復興需要を背景として緩やかながらも景気に回復傾向が見られたものの、欧州債務危機に伴った世界景気のさらなる下振れなどによる先行きの見通しが立たない状況にありました。しかしながら、年末来の政府経済対策を背景とした企業の生産

求人広告掲載件数(全国) (千件) / 前年同期比 (%)



出所：(社)全国求人情報協会資料より当社作成

活動の回復、円安の進行による輸出環境の改善など、景気浮揚に少しずつ期待の持てる状況で推移しました。

このような経済情勢において、求人広告市場については、求人広告件数は増加傾向にあります。前年同期比の伸び率は横ばいに推移しております。また、雇用情勢については、静岡県において

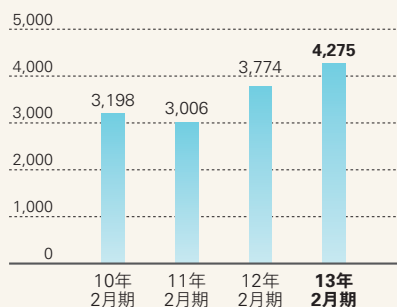
は有効求人倍率の改善傾向が続いておりましたが、2012年8月に有効求人倍率が前月を下回って以降ほぼ横ばいとなっており、全国値を下回って推移する状況が続きました。

このような状況において当社グループは、2013年2月期の基本戦略のもと、「展開地域での競争力強化」「収益基盤

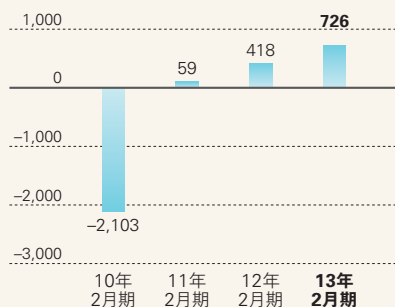
の拡大」「収益構造の改善」「組織力の向上」に取り組んでまいりました。その結果、売上高は前年同期比13.3%増の42億7千5百万円となり大幅な増収を達成しました。売上原価は、基幹システムのリプレースによる償却負担の軽減により同4.2%減の13億5千4百万円、販売費及び一般管理費は、広告・販促費など

HIGHLIGHTS

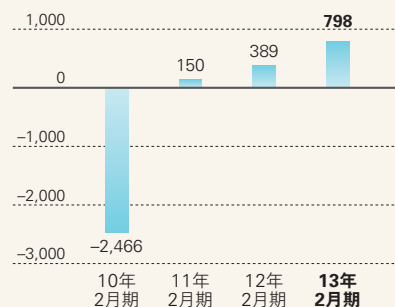
売上高 (百万円)



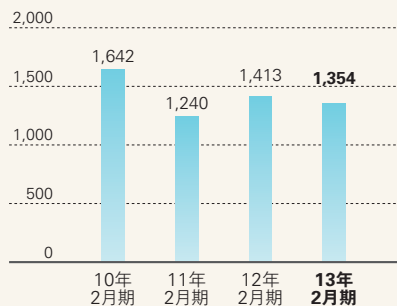
営業利益 (百万円)



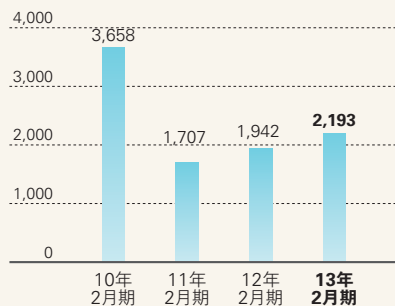
当期純利益 (百万円)



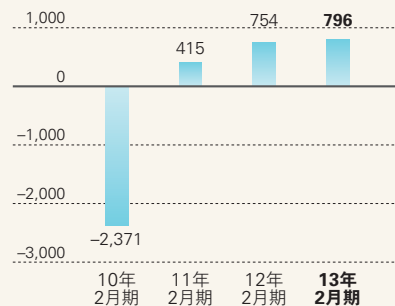
売上原価 (百万円)



販売費及び一般管理費 (百万円)



営業キャッシュ・フロー (百万円)





の増加により同12.9%増の21億9千3百万円となりました。営業利益は、費用の増加はあったものの、売上高の増収により同73.7%増の7億2千6百万円、経常利益は同72.3%増の7億2千8百万円、当期純利益は同104.8%増の7億9千8百万円と大幅な増益を達成しました。

セグメント別（セグメント間の内部取引消去前）で見ると、当社グループの主力商品である求人情報誌『DOMO（ドモ）』の発行及び求人情報サイト『DOMO NET（ドモネット）』の運営・販売、またその他に、主力商品で築いた顧客に対するSP広告の販売などから構成される情報提供事業では、戦略地域である静岡県における堅調な求人需要

により、『DOMO』及び『DOMO NET』や2012年8月にオープンした正社員向け転職・就職サイト『JOB（ジョブ）』の販売が好調に推移しました。また、既存顧客向けに従来の求人広告以外の商品を提供するなど、地域に密着した展開を積極的に推進しました。この結果、売上高は同20.7%増の34億1千9百万円、セグメント利益は同34.4%増の13億6百万円と増収増益となりました。

子会社である株式会社リンクが行うフリーペーパーの取次などにより構成される販促支援事業では、中京・関西地域において新規案件の獲得が進んだことや、地域に密着した狭域型のプロモーションにおける顧客獲得が順調に進みました。

この結果、売上高は同6.1%増の7億4百万円、セグメント利益は同7.0%増の1億4百万円と増収増益となりました。

その他事業では、主に静岡県から緊急雇用創出事業に関する案件を受託するなど、行政と連携を強化し、求人広告にとどまらない人材サービスを拡大した取組みを進めてきました。当該事業には単年度事業も含まれているため、売上高は39.5%減の1億8千2百万円、セグメント利益は0百万円（前年同期は7千万円の損失）となりました。

2013年2月期の基本戦略の成果

■「展開地域での競争力強化」と「収益基盤の拡大」

「展開地域での競争力強化」と「収益基盤の拡大」においては、戦略地域である静岡県において、アルバイト・パート層から正社員層まで拡大した取組みを積極的に実施しました。8月には『DOMO NET』のリニューアルとともに、転職活動中の社会人、就職活動中の学生までの幅広いユーザー向け転職・就職サイト『JOB』を静岡と名古屋でリリースし、正社員層の取組みを強化しました。2013年3月には関東・東日本版と関西・西日

本版をリリースしました(詳細は5ページのコラムをご参照ください)。また、継続的に実施している「シゴトフェア(旧名称: 正社員向け合同企業ガイダンス)」は、静岡県では十分認知され、スタンダードなイベントに育ってきており、当期は静岡県内の東部・中部・西部の3地区に加え、名古屋地域でも開催しました。

また、飲食店向けSP広告の販売については、モバイルを活用した顧客獲得とリピート促進ツール『HANJOMO(ハンジョーモ)』を販売し、求人情報以外の商品の販売も継続して手掛けることで、展開地域での競争力強化につなげています。

さらには、ペット関連情報サービス『WONDERFUL Style(ワンダフルスタイル)』の提供をスタートさせました。これは地域活性化プロジェクトである参加型イベント『DOG!フェスタ』を定期的を実施するとともに、フリーペーパーの発行、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の構築といったサービスにまで拡大し、事業ベースで提供していく取組みです(詳細は5ページのコラムをご参照ください)。今後も、地域社会や地域生活者に対して、魅力ある情報・サービスを開発・展開することで、競争力強化と収益基盤の拡大を図ります。

■「収益構造の改善」と「組織力の向上」

「収益構造の改善」においては、取引におけるネット比率を高めており、特に正社員向けについては、紙からネット単独販売へシフトし収益構造の改善を図りました。また、基幹システムのリプレイスにより償却負担の軽減を図るとともに、BPR(ビジネスプロセス・エンジニアリング)を推進して業務の効率化を図りました。具体的には、営業時の受注プロセスと原稿処理プロセスを抜本的に見直し、iPadを用いて効果的に生産性を

高めています。

「組織力の向上」については、OJTを実施するとともに、実践に則したOFF-JTを階層別、職種別を実施し、全社的なレベルの底上げと事業運営を担える人材の育成に取り組みました。当期は、子会社や関連団体にマネジャークラスを出向させるなど、組織の中核メンバーとしての人員が育ってきています。

2014年2月期の見通し

当社グループの事業を取り巻く環境は、経済情勢は景気浮揚に少しずつ期待の持てる状況で推移していますが、雇用情勢においては、採用意欲は回復傾



向にある一方、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念や長引くデフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することから、雇用情勢の本格的な回復には先行き不透明な状況が続いております。また、法律の改正や諸外国との貿易に関する連携など、事業環境を大きく左右する動きなども注視する必要があります。

このような状況において当社グループは、人材サービス関連のマーケットの変化や価格・サービス競争が熾烈化する中で、商品・サービスを差別化し、求職者・顧客の支持を得る必要があると考えています。そのためには、当社グループの資産を有効に活用し、社会にとってより有益な情報・サービスを提供することで、地域を元気にする情報・サービスのコンテンツメーカーを目指し、より強固な事業基盤を構築することが必要であると考えています。

このような状況を踏まえ、2014年2月期は、基本戦略のもと「各地域での競争力強化」「収益基盤の拡大」「収益構造の改善」「組織力の向上」を重点施策として取り組み、さらなる成長を目指していきます。

2014年2月期の連結業績予想は、売上高が43億3千4百万円(当期比1.4%

基本戦略

- 既存事業において安定的・恒常的に利益を創出する
- 資産を有効活用した新規事業によって成長戦略を描く
- 当社グループの理念を根づかせ、自立した企業風土へと変革する

増)、営業利益が8億1千7百万円(同12.5%増)、経常利益が8億1千7百万円(同12.2%増)、当期純利益が税制改正による法人税等の増加により7億5千4百万円(当期比5.5%減)を計画しています。

株主還元について

当社グループは中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金ならびにフリー・キャッシュ・フローについては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆さまに対しては、連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、連結当期純利益の30%を目処に配当を行う方針です。2013年2月期の配当については、1株当たり4円増配

の7円の期末配当といたしました。2014年2月期については、1株当たり7円の期末配当を予定しています。

また、機動的な資本政策の遂行を可能とするため、そして株主の皆さまへの利益還元を図るため、2012年10月11日から2013年1月25日にかけて自己株式を53万株取得しました。さらに2013年4月10日から6月28日までの間に上限70万株、2億円の自己株式の取得を実施しています。

今後も、継続して収益構造の改善を行っていくほか、当社グループの経営資源を最大限活用し、新規事業によって成長を描くことにより収益機会の拡大を図っていきます。株主の皆さまにおかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

■ 正社員向けサービスの強化

2012年8月より静岡と名古屋でオープンした転職・就職サイト『JOB』が、2013年3月より関東・東日本版、関西・西日本版及び総合版をオープンしました。総合版では、複数エリアで正社員採用をお考えの顧客にとってコストパフォーマンスの良いサービスとして好評を得ています。また、『DOMO NET』にも同一原稿が転載され、多くのメディアにリーチが可能です。今後も求職者と顧客双方の支持を得る魅力的なサイト運営を行ってまいります。



■ ペット関連情報サービスの提供を開始

前期までの取り組みとして散発的に実施していた地域活性化プロジェクトである「DOG!フェスタ」という参加型イベントを、定期的に事業ベースの取組みとして開始するとともに、2012年11月より、フリーペーパー『WONDERFUL Style』を創刊しました。2013年5月にはリニューアルを行い、月刊化してまいります。

今後も、愛犬との生活をもっと素敵にする情報を満載してお届けします。



DOG!フェスタ



DOG!フェスタ 第3回@清水マリンパーク (2012/11/11開催)

連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:百万円)

	当期末 2013年2月末	前期末 2012年2月末	前期末比
資産の部			
① 流動資産	3,309	2,948	361
現金及び預金	2,465	2,265	200
受取手形及び売掛金	524	488	35
原材料及び貯蔵品	5	6	△0
その他	314	189	125
貸倒引当金	△0	△1	0
② 固定資産	895	847	47
有形固定資産	629	663	△33
建物及び構築物(純額)	159	177	△18
土地	444	444	—
その他	26	42	△15
無形固定資産	99	86	13
ソフトウェア	88	75	13
その他	10	10	△0
投資その他の資産	166	97	68
出資預け金	100	—	100
その他	67	100	△32
貸倒引当金	△1	△3	1
資産合計	4,204	3,795	409
負債の部			
流動負債	625	619	6
未払金	386	354	32
賞与引当金	129	131	△2
その他	109	133	△23
③ 負債合計	625	619	6
純資産の部			
株主資本	3,579	3,176	402
資本金	455	455	—
資本剰余金	540	540	—
利益剰余金	3,012	2,309	702
自己株式	△429	△129	△299
④ 純資産合計	3,579	3,176	402
負債純資産合計	4,204	3,795	409
1株当たり純資産	119.73円	99.45円	

POINT

① 流動資産

資産の部では、流動資産が3,309百万円(前期末比12.3%増)となりました。内訳として、現金及び預金が2,465百万円(同8.9%増)、営業債権(受取手形及び売掛金)が524百万円(同7.4%増)などとなったためです。

② 固定資産

固定資産は895百万円(同5.6%増)となりました。内訳として、有形固定資産が629百万円(同5.1%減)、無形固定資産が99百万円(同15.2%増)、投資その他の資産が166百万円(同70.5%増)となったためです。

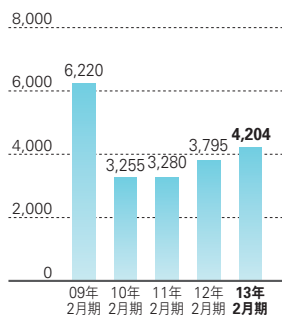
③ 負債

負債は625百万円(同1.0%増)となりました。内訳として、未払金が386百万円(同9.1%増)、賞与引当金が129百万円(同1.9%減)などとなったためです。

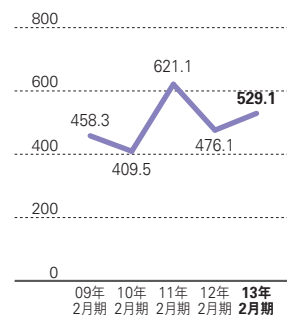
④ 純資産

純資産は3,579百万円(同12.7%増)となりました。これは、当期純利益の計上により、利益剰余金が3,012百万円(同30.4%増)、自己株式の取得により自己株式が429百万円(前期末は129百万円)となったためです。

総資産(百万円)



流動比率(%)



連結損益計算書 (単位:百万円)

	当期 2013年2月期	前期 2012年2月期	前年同期比
売上高	4,275	3,774	500
⑤ 売上原価	1,354	1,413	△58
売上総利益	2,920	2,360	559
⑥ 販売費及び一般管理費	2,193	1,942	251
⑦ 営業利益	726	418	308
営業外収益	6	7	△1
営業外費用	4	2	1
⑧ 経常利益	728	422	305
特別利益	—	0	△0
特別損失	—	104	△104
税金等調整前当期純利益	728	319	409
法人税等合計	△70	△70	0
⑨ 当期純利益	798	389	408
1株当たり当期純利益	26.17円	11.77円	

POINT

⑤ 売上原価

売上原価は基幹システムのリプレースによる償却負担の軽減により1,354百万円(前年同期比4.2%減)となり、売上原価率は37.5%から31.7%に低下しました。

⑥ 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は広告・販促費などの増加により2,193百万円(同12.9%増)となりましたが、売上高の増加により売上高販管費率は51.5%から51.3%に低下しました。

⑦ 営業利益

営業利益は726百万円(同73.7%増)となり、営業利益率は17.0%となりました。

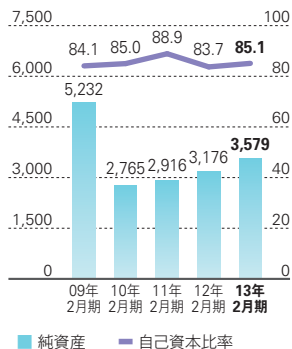
⑧ 経常利益

経常利益は728百万円(同72.3%増)となり、経常利益率は17.0%となりました。

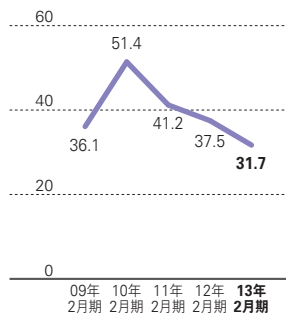
⑨ 当期純利益

当期純利益は798百万円(同104.8%増)となり、当期純利益率は18.7%となりました。

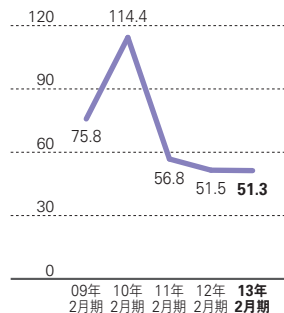
純資産(百万円)／ 自己資本比率(%)



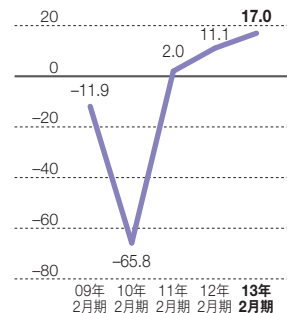
売上高原価率 (%)



売上高販管費率 (%)



営業利益率 (%)

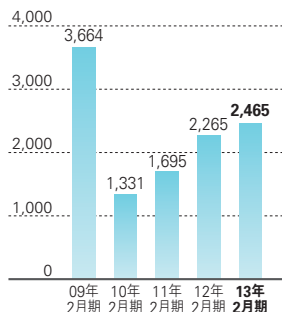


連結財務諸表

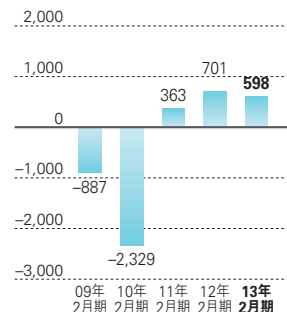
連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	当期	前期	前年同期比
	2013年2月期	2012年2月期	
⑩ 営業活動によるキャッシュ・フロー	796	754	42
⑪ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△198	△53	△145
フリー・キャッシュ・フロー	598	701	△102
⑫ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△397	△131	△266
現金及び現金同等物の増減額	200	569	△369
現金及び現金同等物の期首残高	2,265	1,695	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,465	2,265	—

現金及び現金同等物の 期末残高 (百万円)



フリー・キャッシュ・フロー (百万円)



POINT

⑩ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、796百万円(前期は754百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が728百万円、減価償却費が107百万円、未払債務の増加額が39百万円などとなった一方で、売上債権の増加額が35百万円、法人税等の支払額が28百万円、未払消費税等の減少額が21百万円などとなったためです。

⑪ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、198百万円(同53百万円の支出)となりました。これは主に、出資預け金払込による支出が100百万円、無形固定資産の取得による支出が67百万円、有形固定資産の取得による支出が26百万円などとなった一方で、敷金及び保証金の回収による収入が5百万円となったためです。

⑫ 財務活動によるキャッシュ・フロー

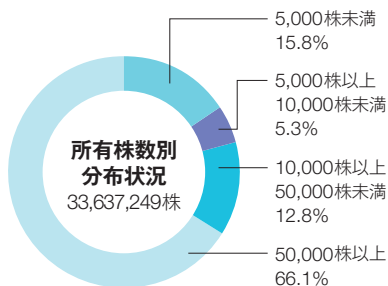
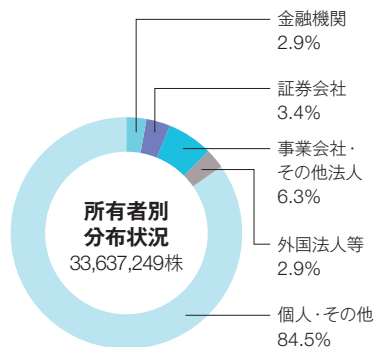
財務活動の結果使用した資金は、397百万円(同131百万円の支出)となりました。これは、自己株式の取得による支出が303百万円、配当金の支払額が94百万円となったためです。

連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
2012年3月1日残高	455	540	2,309	△129	3,176	3,176
当期変動額						
自己株式の取得	—	—	—	△299	△299	△299
当期純利益	—	—	798	—	798	798
剰余金の配当	—	—	△95	—	△95	△95
当期変動額合計	—	—	702	△299	402	402
2013年2月28日残高	455	540	3,012	△429	3,579	3,579

株式状況 (2013年2月28日現在)

発行可能株式総数	136,700,000株
発行済株式総数	33,637,249株
株主数	8,543名



(注) 自社名義株式 (3,743,975株) については「個人・その他」に含めております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	議決権比率
満井義政	11,827,400	39.56%
公益財団法人就職支援財団	1,300,000	4.34%
株式会社静岡銀行	432,000	1.44%
大阪証券金融株式会社	356,100	1.19%
株式会社SBI証券	307,600	1.02%
垣内康晴	262,800	0.87%
静岡キャピタル株式会社	252,000	0.84%
アルバイトタイムス従業員持株会	229,800	0.76%
楽天証券株式会社	229,100	0.76%
株式会社ジャーナルネット	216,200	0.72%

(注) 自社名義株式 (3,743,975株) については上記大株主から除いております。

会社概要 (2013年2月28日現在)

会社名

株式会社アルバイトタイムス

本社

東京都千代田区神田須田町1-24
アイセ神田ビル4F

設立

1973年10月29日

資本金

4億5,599万円

従業員数

連結126名、単体110名
(正社員のみ)

役員 (2013年5月28日現在)

代表取締役社長 垣内 康晴
取締役 堀田 欣弘
取締役 竹内 一浩
常勤監査役 杉本 雄二
社外監査役 清水 久員
社外監査役 重泉 良徳

事業拠点

東京、沼津、静岡、浜松、名古屋

IR窓口

管理部広報IR課
TEL: 03-3254-2501
E-MAIL: ir@atimes.co.jp

グループ企業

株式会社リンク フリーペーパー取次事業

主な事業内容

無料求人情報誌
『DOMO (ドモ)』の編集・発行

求人情報サイト

『DOMO NET (ドモネット)』の運営
(<http://domonet.jp/>)
『JOB (ジョブ)』の運営
(<http://job.atimes.co.jp/>)

IRインフォメーション

ホームページ及びメールマガジンのご案内

アルバイトタイムスは、プレスリリースや決算発表資料などを公表後すみやかに自社ホームページに掲載しています。

また、プレスリリースや決算発表資料などIR情報、ホームページの更新情報をお知らせするメールマガジンを配信しています。

メールアドレスのみで登録できますので、ぜひこちらも併せてご利用ください。

<http://www.atimes.co.jp>



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月中
期末配当基準日	2月末日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で 行っております。	
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告 を行うことができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告先: 当社ホームページ(http://www.atimes.co.jp)

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先 について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設
されました株主さまは、特別口座の口座管理機関であ
る三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社
にお申出ください。



株式会社 **アルバイトタイムス**

